

第 3 回地域検討会（石川県）での指摘事項に対する対応（案）

(1) 第 2 回地域検討会議事概要及び指摘事項（資料 1、2）

質問・コメント等はない。

(2) 概況調査結果概要（資料 3）

質問・コメント等はない。

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要（資料 4）

	質問・コメント等	対応案
1	対象ゴミのペットボトル等を全国レベルで集計しているが、石川の場合、サンプル数が非常に少ない。これからも継続的に取り組むのか。	現在、共通調査の枠内だけを集計している。これとは別途、枠外で集めている。サンプル数を増やして、データになるような形にしたい。
2	現地調査時に石川県、福井県の海岸に木材が漂着した社会問題や、2月にポリタンクが日本の海岸に万単位の数が漂着している状況がある。それらが調査に反映されるか。	木材の方は、我々の調査が終わった 12 月 9 日の夜に海岸に漂着していたが、調査には全く支障はなかった。 ただし、中には、危険なものもあり、ポリ容器を発見したら、内容物の有無に関わらず、現場の責任者に知らせることとしたい。

(4) その他の調査の進捗状況（資料 5）

質問・コメント等はない。

(5) 今後の検討事項（資料 6）

質問・コメント等はない。

(6) 今後の調査スケジュール（資料 7）

質問・コメント等はない。

(7)全体を通じての質疑応答

	質問・コメント等	対応案
3	これからの調査で参加者を減らす、あるいは、今までどおりにやっていくのか。	人数を減らす件に関しては、ビーチクリーナの効率にかかっている。地元の方には、ビーチクリーナを導入しても作業はある。
4	奥能登の海岸沿いには古い網の塊がよく流れて、この網はあまり浮いてもなく、沈んでもなく、船の航路にも支障をきたす。岩場の凹凸したところに網やロープが引っかかると、次から次へと来る漁網はたまって大変困っている。漁網の対応についても、この検討会で審議して、その対策にも力をかしていただければ結構と思う。	滝海岸においても同じような状態で、岩場でかなり大きな冷蔵庫、洗濯機、レンジ、漁網が絡まっているものがあった。漁網等の回収・処理が困難な漂着ゴミへの対応についても、検討会の中で議論していきたい。